

# 取扱説明書

この商品は釘・ビスを使わずに取り付ける簡易式圧着ポールです。取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。また説明書は大切に保管してください。

## 取り付けのできる場所

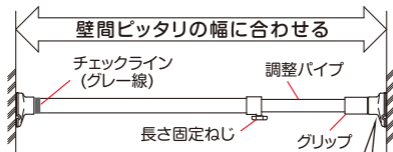
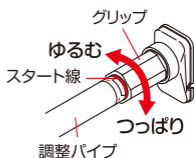
コンクリート壁や柱、壁材と下地に十分な強度がある所。ボードやベニヤなどの弱い壁は、下地に棧のある場所や壁面を市販の木板などで補強して取り付けてください。斜面や湾曲面、凸凹のある壁面には設置できません。

## △取り付け上の注意事項

- この商品は屋内用です。
- 壁面を強力につっぱって取り付けますので、取り付け跡が残る場合があります。支障の無い所で使用してください。
- 高温となる所、屋外や直射日光の当たる所、浴室や湿度の高い所、水が掛かる所には使用しないでください。
- 万一に備え、貴重品、危険物、破損の恐れのある物の周囲、燃焼器具、発熱器具、水道の蛇口の上や常時人がいる上には取り付けないでください。
- 分解や改造はしないでください。
- 水平(壁面に垂直)に取り付けてください。
- 表示の取り付け範囲内で取り付けてください。
- 長さ固定ねじは根元までしっかり締めてください。不十分な場合ポールが落下する原因になります。
- 取り付け後、状態の確認をしてください。

## 取り付け方法

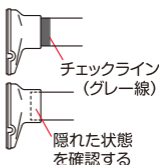
- ①壁面がしっかりしているか確認してください。
- ②長さ固定ねじを緩めて調整パイプがスムーズに引き出せる状態にします。
- ③グリップを「つっぱり」の方向に回し、グリップが動くことを確認します。次にグリップの端をスタート線の位置に戻します。必要以上の戻しすぎは破損の原因になります。



- ④取り付けの壁間いっばいに調整パイプを引き出します。
- ⑤長さ固定ねじを根元までしっかり締め付けます。調整パイプに穴が開いて長さが固定されます。
- ⑥グリップを1~3周「つっぱり」の方向に回した後、取り付け位置を調整します。
- ⑦右下図チェックライン(グレー線)がほぼ隠れるまでグリップを「つっぱり」の方向に回します。この際、端部キャップと一緒に回らないように手で支えてください。
- ⑧壁が破損しないように確認しながら、さらに「つっぱり」の方向にグリップを回して、しっかり圧着固定させます。
- ⑨正しく取り付けられているか確認してから使用してください。

〈注意〉  
端部キャップは左図の向きにしてください。

キャップは下向き、かつ水平にすること

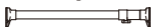


## △使用上の注意事項

- 表示耐荷重の範囲内で使用してください。
- 荷重は分散して掛けてください。
- 急激な荷重を掛けたり強く引っ張る、揺する、ぶら下がるなどの行為は落下やケガの原因になります。
- 手すりやガードなど身体の保護を目的としての使用や本来の用途から逸脱した使用はしないでください。
- 消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)の付着は変質劣化の原因になります。万一付着した場合は直ちに取除いてください。
- 汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭き取ってください。たわし、磨き粉で磨くと傷がつきます。
- 取り付け2~3日後、また定期的に取り付け状態を確認してください。
- 万一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのあるものなどは載せたり、掛けたり、周囲に置いたりしないでください。
- パイプに防錆油が付着していることがあります。拭き取ってから使用してください。
- 樹脂部品は特性上、油の付着や紫外線により劣化が生じます。
- 破損や異常が見つかったときは直ちに使用を中止してください。
- 天災などの不可抗力や改造、経年劣化、製品本来の用途から逸脱した使用による故障、破損、事故に対する補償は致しません。

## 参考耐荷重

75cm時 50kgまで



120cm時 30kgまで



◎耐荷重は圧着力が不足する場合や、取り付け幅、壁の材質、施工状態により減少します。

◎表示耐荷重は実験値であり、保証するものではありません。

※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。  
※予告なく仕様および外観を変更することがありますので、予めご了承ください。



平安伸銅工業株式会社  
TEL 06-6228-8986  
9:30-17:00(土・日・祝日は除く)  
www.heianshindo.co.jp

### 材質表示

パイプ…鉄・エポキシ樹脂粉体塗装  
樹脂部品…ABS樹脂、PP樹脂、合成ゴム  
金具類…鉄・メッキ

DESIGNED IN JAPAN 170719M  
MADE IN CHINA